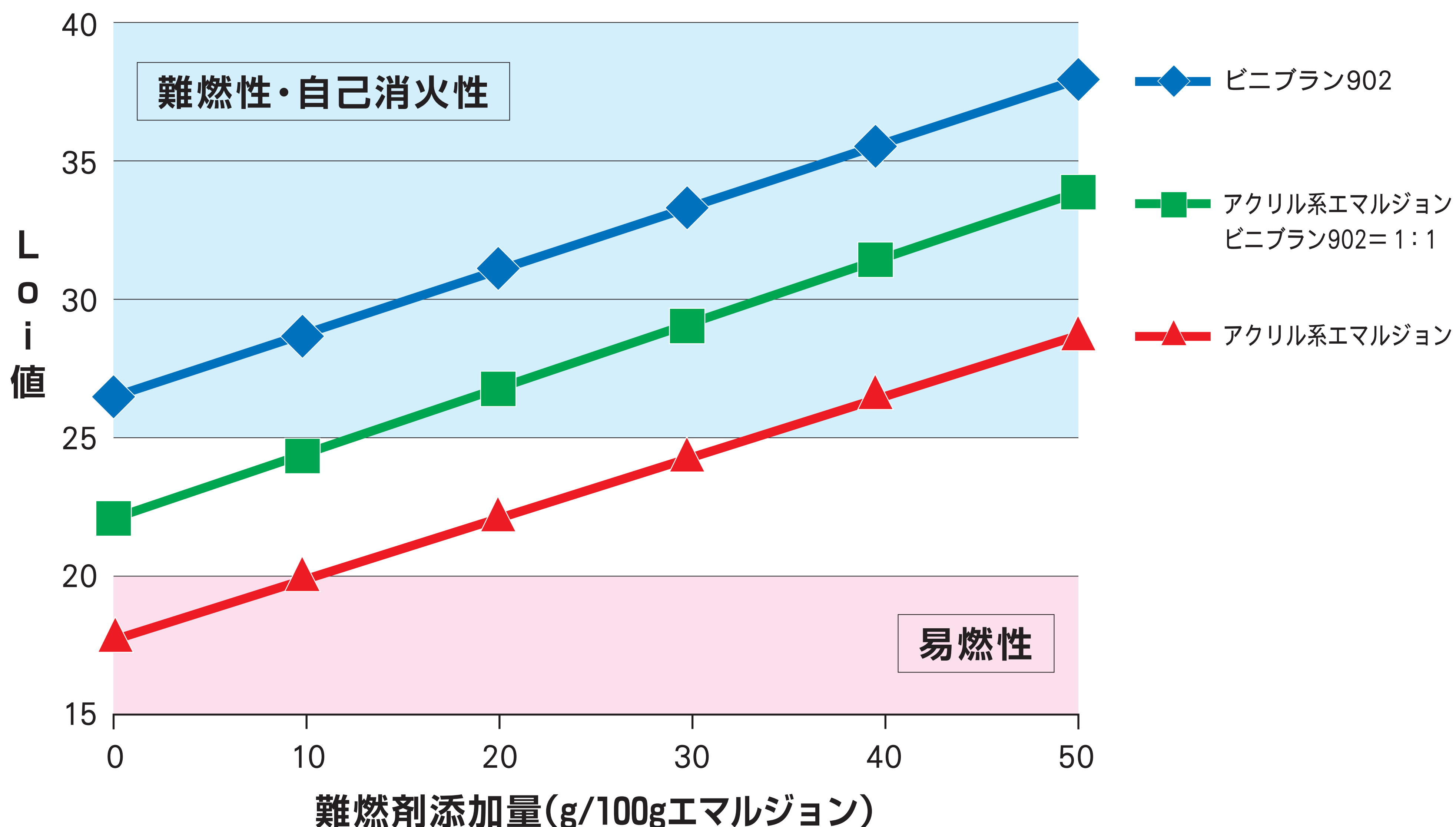


ビニブランによる難燃剤低減

《特徴》

- 塩ビの難燃性を利用し、アクリル系エマルジョンに塩ビ系エマルジョンを混合することで、難燃性が向上する
- 難燃性UPにより、難燃剤の添加量を減らす事が可能
- 難燃剤量の低減により塗料の安定性・加工適性が向上する

◆ 各種バインダーと難燃剤添加量による難燃性の比較



- ・ 難燃剤 デカブロモジフェニルエーテル：三酸化アンチモン=5：1
- ・ Loi値 繊維が燃え続けるのに必要な最少酸素量を示した値。
空気中の酸素濃度は約21%、これ以上の値だと、燃え続けることが困難。
この指数が25以上であれば、難燃性・自己消火性に優れている。